

平成27年度 予算が まとまり ました

依然として厳しい健保組合財政 今後も予断を許さない状況に

2月 25 日に開催された当健保組合組合会において、
平成 27 年度の予算が可決・承認されましたので、お知らせします。

保険料率を前年度据え置きで予算編成

当健保組合においては、平成 27 年度は保険料率を 7.5％に維持し、予算編成を行いました。その結果、予算総額 123 億 7,000 万円を計上し、経常収入は 111 億 1,300 万円、経常支出は 110 億 9,000 万円となり、2,300 万円の黒字を見込んでいます。

収入では、みなさんと事業主から納めていただく保険料収入を、概ね前年並みの 110 億 9,800 万円と見込んでいます。このほか、医療費急増や資金繰りに備えるための別途積立金からの繰入れ 10 億円などの収入も見込んでいます。

支出では、みなさんのけがや病気の医療費、出産などの給付金として保険給付費を 53 億 7,500 万円と見込み、前年度比 6,800 万円の増加となっています。

前期高齢者納付金や後期高齢者支援金など、高齢者の医療費として負担する納付金については制度移行過程の一時的要因も加わり、前年度比 1 億 2,000 万円減少の 52 億 4,300 万円となりましたが、保険料収入の約 5 割を占める負担が続いています。

このほか、みなさんの健康づくりのための保健事業費は、前年度とほぼ同額の 3 億 6,400 万円と見込みました。平成 27 年度から、国の政策に基づき健保組合と会社が協力して健康増進を進める「データヘルス計画」が始まります。当健保組合においても各種データを用いた施策の具体化と共に従来の各種事業の周知・充実や情報提供を図ることを計画しております。

これらの結果、平成 27 年度の当健保組合の予算編成はほぼ収支均衡という見込みとなりましたが、今後も安定した健保組合財政を運営できるとは限りません。平成 28 年度以降、加入者の年齢上昇による医療費増加、いわゆる団塊の世代の前期高齢者（65 歳～ 74 歳）到達等による支援金増加、平成 29 年度まで段階的に行われる後期高齢者支援金の総報酬割化等負担増となる要因が多く、現在の保険料率では収支均衡の維持が困難となると見込まれます。

今後、健保組合運営の効率化を図りつつ、保険料率の見直しも視野に入れ、健保財政の検討を進めてまいります。

みなさんには毎日を健やかにお過ごしいただき、医療費節減にご協力くださいますよう、お願いいたします。

平成27年度収入支出予算概要表

健康保険

■収入

科目	予算額（百万円）
保険料	11,098
国庫負担金収入	3
調整保険料収入	203
繰入金	1,000
国庫補助金収入	6
財政調整事業交付金	54
雑収入	5
合計	12,370
経常収入合計	11,113

■支出

科目	予算額（百万円）
事務費	102
保険給付費	5,375
納付金	5,243
保健事業費	364
還付金	1
財政調整事業拠出金	203
連合会費	4
雑支出	2
予備費	1,077
合計	12,370
経常支出合計	11,090

経常収支差引額	23
---------	----

介護保険

■収入

科目	予算額（百万円）
介護保険収入	1,108
繰越金・他	175
合計	1,283

■支出

科目	予算額（百万円）
介護納付金	1,010
介護保険料還付金	1
積立金・他	272
合計	1,283

※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります。

■当健保組合の現況■ 平成27年3月末現在

●事業所数	28社
●被保険者数	男10,902人 女10,388人 計21,290人
●被扶養者数	計17,206人
●保険料率	
健康保険 7.5%	事業主 4.8% 被保険者 2.7%
介護保険 1.15%	事業主 0.575% 被保険者 0.575%

組合会議員

任期:平成30年4月16日まで（敬称略）

選定議員

氏名等はお配りした「Sawayaka」でご覧ください。
